

市町村名	糸満市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	具志川城跡整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－ア	
担当部課名	教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり Ⅲ－1－(1)	
事業内容	国指定史跡具志川城跡を展示・解説する教養等施設を建設し、観光客の誘客などを推進する。当該年度は施設建設に向けた用地測量を実施した。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	7,092	0			
		(b)予算現額	7,092	0			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	－	6,092			
		A. 計(b+d)	7,092	6,092			
	B. 執行済額		966	0			
	うち交付金充当額		772	0			
	次年度繰越額		6,092	0			
	執行率(%) (B/A)		13.6%	0.0%			
予算の状況の説明		用地買収の交渉に不測の時間を要し事業の年度繰越を行なったが、用地価格単価の折り合いがつかず、用地取得ができなかった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・ガイダンス等施設用地の購入(400㎡)	目 標	(400)	()	()	()	
		実 績	0				
	・用地測量	目 標	(実施する)	()	()	()	
		実 績	実施した(646㎡)				
達成状況説明	施設建設予定地の用地測量を行ったが、用地買収の交渉の際、用地価格単価の折り合いがつかず、用地取得ができなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・ガイダンス等施設用地の購入(400㎡)	目 標	(0)	(400)	()	()	()
		実 績		0			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	用地買収の交渉の際、用地価格単価の折り合いがつかず、用地取得ができなかった。					

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	当初、地権者との合意で、用地の買収を前提に測量を実施したものの、最終的な用地買収交渉では、用地価格単価の折り合いがつかず、用地取得ができなかった。	公示価格等と地権者が希望する価格との隔たりが大きいことから、取得予定地の買収は困難と思われる。
今後の取り組み方針		
本事業の目的は、国指定具志川城跡を展示・解説する教養等施設の建設用地取得であることから、今後関係機関等と協議して、早期の施設建設が実現するよう各種方策を検討したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象 事業費</td><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対象 外経費</td></tr><tr><td>966</td><td>966</td><td>772</td><td>194</td><td></td></tr></table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	966	966	772	194	
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
966	966	772	194											
糸満市 966千円 委託料 966千円 (有) 上原測量 966千円 〔 具志川城跡外用地現況測量 業務委託 〕														
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業者は随意契約により実績、知識等を勘案したうえで選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	糸満市						
平成24年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	海のふさと公園機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ	
担当部課名	経済観光部 海人課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	海のふさと公園を、漁業と海洋性レクリエーションの拠点として機能強化し、体験学習の場としての活用を図った。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	47,950	0			
		(b)予算現額	47,950	12,682			
		(c)増減額(b-a)	0	12,682			
		(d)繰越額	—	37,402			
		A. 計(b+d)	47,950	50,084			
	B. 執行済額		10,547	50,023			
	うち交付金充当額		8,437	29,843			
	次年度繰越額		37,402	-			
	執行率(%) (B/A)		22.0%	99.9%			
予算の状況の説明		収蔵庫の設置に際し、地域住民の要望を反映するための調整に不測の期間を要し繰越工事となったが、おおむね予算計上どおりに執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・公園施設機能強化工事の実施	目標	(公園施設機能強化工事の実施)	()	()	()	
		実績	公園施設機能強化工事を実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	経年劣化している漁民集落展示館の屋根やトイレ、電気設備等の工事等を行って海のふさと公園の機能強化を図ることと、海人の歴史を伝える収蔵庫新築工事を行うことにより、海人のまち糸満の体験学習ができる場を設けることが達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・公園施設機能強化実施箇所4箇所	目標	()	(4箇所)	()	()	()
		実績		4箇所			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	3箇所(漁民集落展示館屋根、トイレ、電気設備等)については計画どおり達成できたが、収蔵庫については設計に期間を要したため繰越工事となったが25年度内には達成している。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・設計工事にあたっては、公園指定管理者と協議を行い機能強化が必要な箇所を検討し整備を行った。また市商工観光課が体験学習の場として利活用したい旨の整備要請を受け、設計工事を検討した。	・公園指定管理者から公園の利用状況を確認し、整備が必要な箇所を検討していく。また公園の活用を図れるよう漁業関連や観光関連などの機関との連携を検討していく必要がある。
今後の取り組み方針		
・公園指定管理者と共に市の商工観光課とも連携を組み、糸満体験学習の場として、機能強化した施設（収蔵庫や漁民集落展示館）の活用を実施していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
60,570	47,850	38,280	9,570	12,720

糸満市
60,570千円

委託料
6,057千円

(有)いとまん
建築センター
5,133千円

(交付対象外経費)
303千円

(株) 大洋土木コンサル
タント
924千円

海 の ふ る さ と 公 園 収 蔵 庫 設 計 監 理 業 務 委 託

海 の ふ る さ と 公 園 収 蔵 庫 設 計 に 伴 う
土 質 調 査 業 務

工事請負費
54,513千円

玉城工務店
2,205千円

(有) 伊敷興業
6,253千円

南部電工 (株)
2,090千円

光建設 (株)
43,965千円

(交付対象外経費)
12,417千円

海 の ふ る さ と 公 園 漁 民 集 落 展 示 館 屋
根 補 修 工 事

海 の ふ る さ と 公 園 施 設 整 備 工 事 (トイ
レ 等 改 修 工 事)

海 の ふ る さ と 公 園 施 設 整 備 工 事

海 の ふ る さ と 公 園 収 蔵 庫 新 築 工 事

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札により選定されていることから妥当であったと考える。 ○予算規模や費目・使途は、事業の活動及び成果目標の達成状況、さらに、完了検査等により適正であったと言える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	糸満市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	ハーリー・ハーレー船造船事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章－3－(3)－イ	
担当部課名	経済観光部 海人課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興		
					Ⅲ－1－(1)		
事業内容	市内の漁村地域では、爬虫船競漕が盛んでとりわけ糸満ハーレーは沖縄の夏を告げる行事として、さらに沖縄独特の旧暦文化を体感できる観光資源として名高い。漁村の地域行事を一層魅力ある観光資源とするため、木製のサバニを整備した。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	10,206	0			
		(b)予算現額	10,206	0			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	－	7,146			
		A. 計(b+d)	10,206	7,146			
	B. 執行済額		3,060	7,146			
	うち交付金充当額		2,448	5,716			
	次年度繰越額		7,146	0			
	執行率(%) (B/A)		30.0%	100.0%			
予算の状況の説明		材料の調達に時間を要したため、繰越となったが計画どおりの建造を達成した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・ハーレー等舟の建造数6艘	目 標	(建造6艘)	()	()	()	
		実 績	建造6艘				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	材料の調達に不測の時間を要したため、繰越となったが、ハーレー・ハーリ舟6艘の建造が達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・ハーレー等舟の充足率100%	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	予定していた糸満ハーレー及び名城ハーリーの6艇すべて(100%)を建造した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	ハーリー舟の原材料となる木材の調達が予定より時間がかかった。 また、技術者が少ないため、作成にも時間を要する。 糸満市内では、あと1集落(喜屋武)においてもハーリーが実施されているため、その集落の舟についても、整備する必要がある。	調達に際し、スムーズに行えるよう調整を行ったうえで、実施する。 船大工の技術を持った後継者の育成が必要となる
今後の取り組み方針		
市内には、字糸満・字名城・字喜屋武の3集落の漁村地域があり、字糸満及び字名城は旧暦5月4日には爬竜船競争が盛大に行われている。 地域が誇れる伝統行事の存続と併せて、観光資源化への取り組みを図る必要がある。 次年度は、もう1集落の舟を建造することで、より魅力のある伝統行事として推進したい。		

資金の流れ										
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)										
		総事業費	交付対象 事業費	<table><tr><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>10,206</td><td>10,206</td><td>8,164 2,042</td></tr></table>	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	10,206	10,206	8,164 2,042
交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費								
10,206	10,206	8,164 2,042								
糸満市 10,206千円 委託料 10,206千円 双子橋造船所 5,103千円 いとまんサバニ製作所 5,103千円 （ハーリー・ハーレー舟建造委託 （糸満） （ハーリー・ハーレー舟建造委託 （名城）										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明						
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○ハーレーハーリー舟の委託先は、市内の船大工で妥当であると考えている。						
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。								
	ー	受益者との負担関係は妥当であるか。								
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。								

市町村名	糸満市									
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	2-③		省エネ設備化推進事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(3)－ア		
	総務部 総務課 市民健康部 市民生活環境課		事業実施 (予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	地球温暖化防止対策の推進			
担当部課名							Ⅲ－1－(1)			
事業内容	本市の先進的な環境への取組を更に推進すべく、庁舎の照明及び市管理防犯灯をLED化し省エネ化を推進した。									
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）									
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）	予算 の 状 況				24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
			(a)当初予算額		4,284	0				
			(b)予算現額		56,979					
			(c)増減額(b-a)		52,695	0				
			(d)繰越額		－	43,870				
	A. 計(b+d)		56,979	43,870						
	B. 執行済額		12,302	41,895						
	うち交付金充当額		9,842	25,254						
	次年度繰越額		43,870	0						
	執行率(%) (B/A)		21.6%	95.5%						
予算の状況の説明		LEDの照明設置設計仕様書の作成に不測の日数を要したため、繰越事業となったが、予定した事業を行うことができた								
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)			達成状況						
					24年度	25年度	26年度	27年度		
	・市庁舎へのLED照明の設置			目 標	(72.6%)	()	()	()		
				実 績	72.6%					
	・LED防犯灯のLED設置			目 標	(213基)	()	()	()		
				実 績	213基					
達成状況説明	市庁舎の執務室を中心に約7割部分の照明をLED化し、さらに市が管理する防犯灯213基にLED照明を設置した。									
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)			基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)		
	・市庁舎へのLED照明の設置			目 標	()	(72.6%)	()	()	()	
				実 績		72.6%				
	・LED防犯灯のLED設置			目 標	()	(213基)	()	()	()	
				実 績		213基				
	進捗状況説明	LED照明の設置により、消費電力の減少によりCO2が削減され、クリーンでエコなまちづくりの啓発となり、環境への取り組みが推進された。								

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	市庁舎照明のLED化を実施した。全体の約72.6%である。 また防犯灯については、自治会が管理する防犯灯を含め、LED化が必要である。	更なるCO2削減のため、市庁舎全体及び自治会防犯灯も含めたLED化の計画実施が必要である。
今後の取り組み方針		
平成25年度は、更なるCO2排出削減のため、市庁舎照明の残存分のLED照明の設置を実施する。また防犯灯については、自治会管理のおよそ2,300基をH25～27年度の3年間で年次的にLED化する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
		総事業費	交付対象 事業費	交付対象 外経費
		54,198	43,870	10,328
		交付金 充当額	市町村 負担金	
		35,096	8,774	

糸満市
54,198千円

需用費
490千円

委託料
2,205千円

工事請負費
51,503千円

南部電工株式会社
490千円

(有)安谷屋設備設計
2,205千円

南部電工株式会社
11,813千円

(株)沖創工
39,690千円

(うち繰越承認額の
超過額) 10,328千円

防犯灯LED機器取り替えに伴う
ブレーカー等修繕

糸満市庁舎LED照明設置工事
設計監理委託業務

防犯灯LED機器取替工事

糸満市庁舎LED照明設置工事

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○糸満市庁舎LED照明設置工事設計監理委託業務、当該工事は、組織、実績、知識等を勘案したうえで、指名競争入札による適正な手続きのもとに実施された。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	糸満市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	運動公園・体育施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－イ	
担当部課名	建設部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ－1－(1)	
事業内容	アマチュアスポーツの受入体制の強化を図り、それに伴って、市民スポーツと地域の振興を推進する為、西崎運動公園・体育館等の機能強化を実施した。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	100,000	0			
		(b)予算現額	185,600	0			
		(c)増減額(b-a)	85,600	0			
		(d)繰越額	－	94,443			
		A. 計(b+d)	185,600	94,443			
	B. 執行済額		83,659	94,425			
	うち交付金充当額		66,927	75,540			
	次年度繰越額		94,443	0			
	執行率（％）(B/A)		45.1%	100.0%			
予算の状況の説明		施設設計、備品の整備にあたり連盟、協会との調整に不測の日数を要した。また、施工時期の調整に不測の日数を要したため、繰越となったが、計画どおり予算執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・運動公園等の機能強化工事の実施	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施した				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	整備後20年以上の老朽化した公園施設の機能を強化、回復させるために西崎運動公園の球場音響設備改修、総合体育館改修、誘導灯取替工事、多目的広場ベンチ改修、球場ブルベン改修をした。又備品ではバスケットリング、写真判定器、投てき囲い、マット等を購入した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・運動公園等の機能強化工事の実施	目 標	()	(実施)	()	()	()
		実 績		実施した			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	老朽化した運動施設を改修したことにより競技のスムーズな運営と利用者に安全、快適な施設利用を提供できるようになった。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・改修したことにより利用者が公園の規則を守るようになった。 ・地域住民や公園施設利用者から他の施設の整備、機能強化の要望がまだある。 ・利用者や協会等関係機関との日程調整等が十分でなく繰越となってしまった。	・施設利用者に対する使用条件を徹底的に指導する必要がある。 ・今後事業執行にあたっては、スケジュール等の調整を十分に行う必要がある。 ・整備し機能強化された施設を多くのアマチュアスポーツ団体等へPRする必要がある。
今後の取り組み方針		
・より良い施設管理を行えるように管理者の資質向上を図っていくため、糸満市が指定管理者に施設管理について指導をしていく。 ・利用者の声を聞きながら、さらに効果的な整備箇所を検討していく。 ・事業が平成25年度末に完了している為、今後、さらに県外からの合宿等に利用してもらえるようPR活動を指定管理者と協力して行っていく。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		178,084	178,084	
			交付金充当額	市町村負担金
			142,467	35,617
糸満市 178,084千円	委託料 7,067千円	金城設計事務所 2,153千円	西崎総合体育館改修設計委託業務 1,103千円 西崎球場室内練習場改修工事設計委託業務 1,050千円	
		(株) 光建 4,914千円	西崎総合体育館誘導灯設備改修工事	
	工事請負費 110,224千円	三立建設 60,308千円	西崎運動公園ジョギングコース設置工事 29,511千円 西崎球場ブルペン整備工事 29,697千円 西崎総合体育館ライン補修工事 1,100千円	
		(有) 第三土建 31,044千円	西崎総合体育館整備工事	
		沖縄パナソニック特機(株) 1,785千円	西崎球場スコアボード改修修繕工事	
		(株) 光建 2,520千円	西崎球場放送設備改修工事	
		サンピアことぶき 1,229千円	西崎運動公園監視カメラ設置工事	
		(株) 大輝 11,385千円	西崎多目的広場ベンチ整備工事	
		(株) 西崎興業 735千円	西崎陸上競技場写真判定室内装工事	
		(株) 照屋土建 1,218千円	西崎球場内野整備工事	
	備品購入費 60,793千円	沖縄スポーツ社 50,503千円	西崎陸上競技場備品購入 36,330千円 バスケットゴール購入 13,440千円 西崎陸上競技場備品、9人制バレー用ネット購入554千円 西崎陸上競技場円盤等購入179千円	
		(有) プンキョウ技研 9,870千円	円盤・ハンマー投用囲、バスケット電光表示システム購入	
南部教育用品社 420千円		西崎陸上競技場テント購入		
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託業者は、指名競争入札で選定しており、妥当である。 ○予算規模は、設計書を作成して内容に見合った規模である。 ○費用・使途については、設計書と数量と実施数量を確認して適 正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	糸満市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	地域スポーツ施設の拡充事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－イ	
担当部課名	建設部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ－1－(1)	
事業内容	本市では県内大会、九州・全国大会の誘致を促進しているところであるが、未だ充分な受入れ体制ではないことから、多くの選手団を受け入れ円滑な大会運営を確保するため、地域に散在するスポーツ施設を年次的に機能強化等を実施した。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	64,002	0			
		(b)予算現額	64,002	0			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	－	38,329			
		A. 計(b+d)	64,002	38,329			
	B. 執行済額		25,673	38,329			
	うち交付金充当額		20,538	30,663			
	次年度繰越額		38,329	0			
	執行率(%) (B/A)		40.1%	100.0%			
予算の状況の説明		工事の施工に伴い湧水、地盤等の状況変化に伴い、施工能率の低下により不足の日数を要したため、繰越となったが、計画どおりの事業を行うことができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	地域スポーツ施設の拡充工事の実施	目 標	(100%)				
		実 績	100%				
		目 標	()				
		実 績					
達成状況説明	当該公園は、未整備で大会ができる状況でなかったことから、グラウンドの造成、バックネット、フェンス、照明灯等を設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	地域スポーツ施設の拡充工事の実施	目 標	()	(100%)			()
		実 績		100%			
	[参考指標]	目 標	()	()			()
		実 績					
	進捗状況説明	整備したことにより、野球クラブチーム等が利用するようになった。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	グラウンドの造成、バックネット等の設置をしたことにより、公園利用者・付近住民の安全性が高くなったことで、各種大会の受け入れ体制が整い、円滑な大会運営をすることができるようになった。	施設利用者に、使用条件の順守を徹底的に指導する必要がある。
今後の取り組み方針		
より良い施設管理を行えるように管理者の資質向上を図っていくため、糸満市が指定管理者に施設管理について指導をしていく必要がある。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
糸満市 64,002千円 委託料 6,951千円 工事請負費 57,051千円 (株)丸島建設コンサルタン 6,699千円 (株)丸島建設コンサルタン 252千円 (株)照屋土建 57,051千円 北波平武富公園整備調査測量設計委託業務 北波平武富公園照明設計委託業務 北波平武富公園整備工事														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>64,002</td><td>64,002</td><td>51,201</td><td>12,801</td><td></td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	64,002	64,002	51,201	12,801	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
64,002	64,002	51,201	12,801											
資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明											
資金の流 点検 評価 ・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札で選定しており、妥当である。 ○予算規模は、設計書を作成して内容に見合った規模である。 ○費用・使途については、設計書と数量と実施数量を確認して適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	糸満市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	海洋レジャー客等安心確保事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ	
担当部課名	消防本部 総務課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	近年、海上イベント等が拡大傾向にあり、既存施設以外の海上利用もあるなど、水難事故等不測の事態への対応範囲が拡大している。そこで救助活動等海洋レジャーの不測の事態に対応し、観光客等の安心を確保すべく、ジェットボードの購入及びスロープの設置工事等を実施した。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	7,435	0			
		(b)予算現額	7,435	0			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	—	1,500			
		A. 計(b+d)	7,435	1,500			
	B. 執行済額		5,742	1,481			
	うち交付金充当額		4,593	1,185			
	次年度繰越額		1,500	0			
	執行率(%) (B/A)		77.2%	98.7%			
予算の状況の説明		ジェットボード購入及びスロープ設置申請書作成業務委託については、H24年度にて執行できたが、スロープ設置工事については、設置予定地の一部が森林法に係る保安林解除許可申請が必要となり、許可審査に期間を要するため、スロープ設置工事費については、繰り越しを行い、実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・ジェットボードの配置 1艇	目 標	(1艇配置)	()	()	()	
		実 績	1艇配置				
	・スロープ設置工事の実施 1箇所	目 標	(1箇所設置)	()	()	()	
		実 績	1箇所設置				
達成状況説明	・水難救助等の不測の事態に備えてジェットボードを配備。 ・ジェットボード用のスロープを設置。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・ジェットボードの配置 1艇 ・スロープ設置工事の実施 1箇所	目 標	()	(1艇配置 1箇所設置)	()	()	()
		実 績		1艇配置 1箇所設置			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・水難救助等の不測の事態に備えてジェットボードを消防本部へ配備。 ・ジェットボード用のスロープを今年度で設置する予定であったが、設置予定地の一部が森林法に係る保安林解除許可申請が必要となり許可審査に期間を要するため設置は次年度繰り越しを行い、工事を実施した。					

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・台風等の自然災害によるスロープの損壊。 ・消防職員に船舶操縦士免許及び自動車牽引免許の取得者をさらに増やす。	・不測の事態に備えて水難救助訓練を実施する。 ・より、安全な体制を確保できるよう人材 (船舶免許及び自動車牽引免許保持者) の育成を行っていく必要がある。
今後の取り組み方針		
・水難事故等不足の事態に備えて水難事故想定訓練を実施する。 ・スロープに損壊箇所がないか定期的に現地調査を実施する。 ・船舶免許及び自動車牽引免許を消防職員に習得させる。また、取得している職員についてもより高度な技術を身に付けられるよう訓練を行う。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
糸満市 7,223千円 委託料 797千円 (株)ホープ設計 597千円 (有)力開発 200千円 工事請負費 1,281千円 (有)三清土建 1,281千円 備品購入費 5,145千円 (有)総合マリン沖縄 5,145千円 (スロープ設置申請書作成業務委託料) (大度海岸救助艇用スロープ設置工事に伴う磁気探査委託料) (大度海岸救助艇用スロープ設置工事) (水難救助艇及びトレーラー購入)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		7,223	7,223	5,778
				市町村負担金
				1,445
				交付対象外経費
				0
資金の 使途の 流れ、 点検 評価、 費目	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託・請負業者は、随意契約にあたり企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○備品購入業者は、入札により選定された業者であり、実績、知識等を助案して妥当であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要最低限なものである。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	糸満市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-③	平和の光イベント推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ア	
担当部課名	経済観光部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ－1－(1)	
事業内容	糸満市は、年末年始にかけて平和の光事業（ピースフルイルミネーション）を実施しているが今年度は関連事業として平和の柱事業を加えてより強く恒久平和の発信を行う為、平和の柱事業のサーチライト購入及び、当該事業への補助等を実施した。						
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	30,000	0			
		(b)予算現額	30,000	0			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	－	5,931			
	A. 計(b+d)	30,000	5,931				
	B. 執行済額	23,655	5,849				
	うち交付金充当額	18,924	4,678				
	次年度繰越額	5,931	0				
	執行率（％）(B/A)	78.9%	98.6%				
予算の状況の説明	土地の使用に関し、関係機関との調整に不足の時間を要したため、繰越となったが、当初の予定どおりの計画を行うことができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・平和の光イベントの開催 ・平和の柱イベントの開催	目 標	(イベントの開催)	()	()	()	
		実 績	イベントの開催				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	平和の光イベントは、糸満観光農園で平和の祈りをイルミネーションに託して世界へ発信する事業を実施。 平和の柱イベントは、平和記念公園で平和の祈りを5台のサーチライトで天空に光の柱を発信することで世界の平和を祈念する事業を実施。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・平和の光イベント来場者数79,000人	目 標	()	(79,000人)	()	()	()
		実 績		76,184人			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	開催期間中の天候不順のため、目標は惜しくも達成できなかったが、平和の光、平和の柱両イベントを同じ期間に行ったことで、多くの方に足を運んでもらい平和の尊さを発信することができたと思う。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	今回、同時期に開催したが、平和を発信することであれば、6月23日の慰霊祭に平和の柱事業は行う方が良かったのではないかと検討の余地がある。	6月23日の慰霊祭前日から平和の柱をたてて平和発信ができないか検討する。
今後の取り組み方針		
平和の柱事業は、平和祈念財団へ委託することで、平和祈念公園内で全戦没者の御霊の供養のための行事として位置づける。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		29,504	29,504	23,602
				市町村負担金
				5,902
				交付対象外経費
				0
糸満市 29,504千円	委託料 5,030千円	(財) 沖縄県平和記念財団 2,874千円	平和の柱事業委託	
		フルノ九州販売株式会社 沖縄営業所 796千円	「平和の光」用サーチライト配線・分電盤取付	
		ていーだ建築設計室 1,281千円	サーチライト保管庫設計監理業務委託	
		(有) 金城技研 79千円	サーチライト保管庫建設地質調査委託	
	工事請負費 5,390千円	(有) 仲門工業 823千円	サーチライト用台車製作工事	
		玉城工務店 4,567千円	サーチライト保管庫建設工事	
	備品購入費 12,074千円	フルノ九州販売株式会社 沖縄営業所 12,074千円	「平和の柱」用サーチライト購入	
	補助金 6,980千円	「平和の光」実行委員会 6,980千円	平和の光助成補助金 (会場警備費等)	
	需用費 30千円	ていーだ建築設計室 30千円	建築確認申請手数料	
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・指名競争入札で業者選定を行い、予算規模・使途については必要最小限の事業支出である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・実行委員会に委託することで直接事業実施を行えることから費用等に置いても妥当であったと考える。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者負担については、平和の光事業(平和の柱事業)事業の総事業費22,691千円に対し、補助金6,980千円(約3割)、15,711千円の受益者(実行委員会)負担と成っているため妥当である。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	糸満市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑥	伝統行事観光化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ア	
担当部課名	経済観光部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ－1－(1)	
事業内容	本市の観光受入れ体制を強化すべく大綱引やハーレー行事等で観客に配慮した組み立て式の観覧席等を年次的に整備する。また、糸満大綱引きや糸満ハーレー等の伝統行事体験ツアーについて観光客の誘客にどれだけ寄与したか実証実験を委託した。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	14,850	0			
		(b)予算現額	14,850	0			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	－	5,730			
	A. 計(b+d)		14,850	5,730			
	B. 執行済額		7,768	5,291			
	うち交付金充当額		6,214	4,233			
	次年度繰越額		5,730	0			
	執行率(%) (B/A)		52.3%	92.3%			
予算の状況の説明		台風の影響により体験ツアーで不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・観覧席の整備 ・体験ツアーの開催 ・仮設トイレの整備	目 標	(観光誘客整備)	()	()	()	
		実 績	観光誘客充実				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	糸満ハーレーで使用できなかったので、次年度以降導入していきたい。 糸満大綱引で観光誘客整備として観覧席等の設置を行った。 糸満大綱引で観光誘客整備としてツアーメニューを開発し実証した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・体験ツアー参加者数90人	目 標	()	(90人)	()	()	()
		実 績		24人			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・観覧席などの施設の充実により誘客力が増した。 ・台風17号の襲来により体験ツアー申込者がキャンセルしてしまい、体験ツアーが出来なかった。 (台風によるキャンセル人数45名)					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・実証実験の体験メニューにおいて不安な部分がある。 ・観覧席設置費用面について収支のバランスを検証する必要がある。 ・伝統行事を行う行事委員会が観光誘客について以前より前向きになった。	・体験メニューを多く盛り込み過ぎて観光客に負担をかけたので、市観光協会で内容を再度検討し、負担の少ない体験メニューを確立してきたい。 ・観覧席設置費用として受益者負担額を確立させ継続的な観覧席設置を行う。
今後の取り組み方針		
体験メニューを市観光協会へ委託し、継続的な誘客になるような内容の充実を行う。 大綱引行事のみならず、糸満ハーレーや地域行事等でも観覧席を活用し観光誘客の起爆剤として活用していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		13,059	13,059	10,447	2,612	0
糸満市 13,059千円		委託料 3,151千円	(有) 大喜商建 939千円			誘客マネージメント委託料
			(有) まるやす建設 1,280千円			観覧席保管庫設計監理委託費
			(有) 金城印刷 932千円			体験ツアー実証実験調査委託
		備品購入費 8,903千円	(有) 大喜商建 4,892千円			組立観覧席購入費
			(有) 吉田開発 4,011千円			観覧席保管庫購入費
		事務費 1,005千円	共済費、賃金、需用費			
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価・	評価	点 検 項 目			評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。			指名競争入札及びプロポーザルで業者選定を行い、予算規模・使途については必要最小限の事業支出である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名		糸満市								
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】										
事業番号・事業名		6-①		糸満市水産業振興センター設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－オ			
担当部課名		企画開発部 政策推進課		事業実施(予定)年度	平成 2 4 ～ 2 8 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産技術の開発と普及			
事業内容		新たな水産技術の習得と応用により、養殖・水産加工工業等の新たな水産業の確立を旨とする施設として整備のため、用地取得及び設計業務を実施した。								
実施方法		■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）								
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度		
		予算の状況		(a)当初予算額		168,541	-			
				(b)予算現額		168,541	-			
				(c)増減額(b-a)		0	-			
				(d)繰越額		-	44,777			
				A. 計(b+d)		168,541	44,777			
				B. 執行済額		90,351	25,671			
				うち交付金充当額		72,281	20,537			
				次年度繰越額		44,477	0			
				執行率（％）(B/A)		53.6%	57.3%			
		予算の状況の説明		用地交渉に不測の時間を費やしたため、基本設計業務、実施設計業務等を繰り越し行い、当初予定業務については全て達成できた。予算計上の際、用地を分筆前の地籍にて計上を行った為、用地購入費の不用額が生じた。また、委託料に関しては入札を行った為、不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況						
				24年度	25年度	26年度	27年度			
		水産振興センター用地購入 11,039㎡		目 標	(11,039㎡)	()	()	()		
				実 績	11,289㎡					
		水産振興センター敷地造成設計業務・施設建築設計業務		目 標	(基本設計・実施設計)	()	()	()		
				実 績	基本設計・実施設計					
		達成状況説明	用地交渉に不測の時間を費やし繰越を行ったが、当初予定していた用地取得、基本設計業務及び実施設計業務等を達成できた。							
成果目標(指標)及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)		
		・水産振興センター用地購入		目 標	()	(11,039㎡)	()	()	()	
				実 績		11,289㎡				
		【参考指標】		目 標	()	()	()	()	()	
				実 績						
				進捗状況説明	・用地購入により、敷地が確保できたことにより、設計業務を実施することができた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・基本計画に基づき、設計業務を行った。今後、ソフト事業にて実施計画を作成、ハード事業に取り組んで行く。	・平成32年度までの長期事業であり、社会情勢の変動に対応し柔軟に対応していく。
今後の取り組み方針		
・基本計画に基づき第1期工期(平成24年～平成27年)、第2期、(平成28年～平成30年)、第3期、(平成31年～平成32年)に分け事業成功に向け慎重に取り組んでいきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
118,029	116,023	92,818	23,205	2,006

糸満市
118,029千円

委託料
30,442千円

(株)国建
8,820千円

(有)上原測量
1,252千円

(有)グロリア
20,370千円

用地購入費
87,489千円

地権者11名
87,489千円

事務費
98千円

手数料 93千円

基本計画策定業務 4,200千円
敷地測量造成設計委託業務 4,620千円

用地取得に伴う土地分筆登記委託 187千円
用地内里道廃止業務 384千円
用地交換にかかる土地分筆登記 681千円

基幹・インフラ建築設計委託業務

糸満市水産業振興センター(仮称)用地購入

(交付対象外経費)
2,001千円

(交付対象外経費)
5千円

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	糸満市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11-④	公立保育所環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ	
担当部課名	福祉部 児童家庭課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 Ⅲ－3－(1)	
事業内容	亜熱帯特有の温度・湿度・直射日光など、夏場においても安全・快適な保育環境を保持する必要があることから保育所建物の断熱塗装、空調設備等を設置した。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	16,000	-			
		(b)予算現額	16,000	-			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	—	7,754			
	A. 計(b+d)		16,000	7,754			
	B. 執行済額		5,726	7,754			
	うち交付金充当額		4,262	6,202			
	次年度繰越額		7,754	0			
	執行率（％）(B/A)		35.8%	100.0%			
予算の状況の説明		併設で建設中の幼稚園工事との調整に時間を要したため繰越事業となったが、予定どおりの規模で実施することができた					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・断熱塗装等工事の実施	目 標	(工事の実施)	()	()	()	
		実 績	工事を実施した				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	喜屋武保育所園舎の屋根、壁面等への断熱塗装工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・紫外線・冷房対策実施保育所利用児童数:31人	目 標	()	(31人)	()	()	()
		実 績		32人			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	平成24年度実績の32名については、平成25年4月完成時点の数字である。入所児童数については、年間を通して大きな変動はない。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	入所児童の保育環境を保持するためには、暑さ対策が必要である。今回初期の目的が達成できたと考える。	直射日光のあたる窓へ断熱フィルムを貼れば更なる効果が上がると思われる。
今後の取り組み方針		
平成25年度については、座波保育所で実施する予定である。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
13,480	13,081	10,464	2,617	399

糸満市
13,480千円

委託料
704千円

金城設計事務所
704千円

(断熱塗装設計監理委託料 (喜屋武保育所))

工事請負費
12,776千円

(株) 西崎防水工業
12,377千円

幸電器
399千円

(交付対象外経費)
399千円

断熱塗装工事 (喜屋武保育所)

空調設備工事 (糸満保育所)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○施工業者選定にあたっては、指名競争入札を行い、適正に実施された。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	